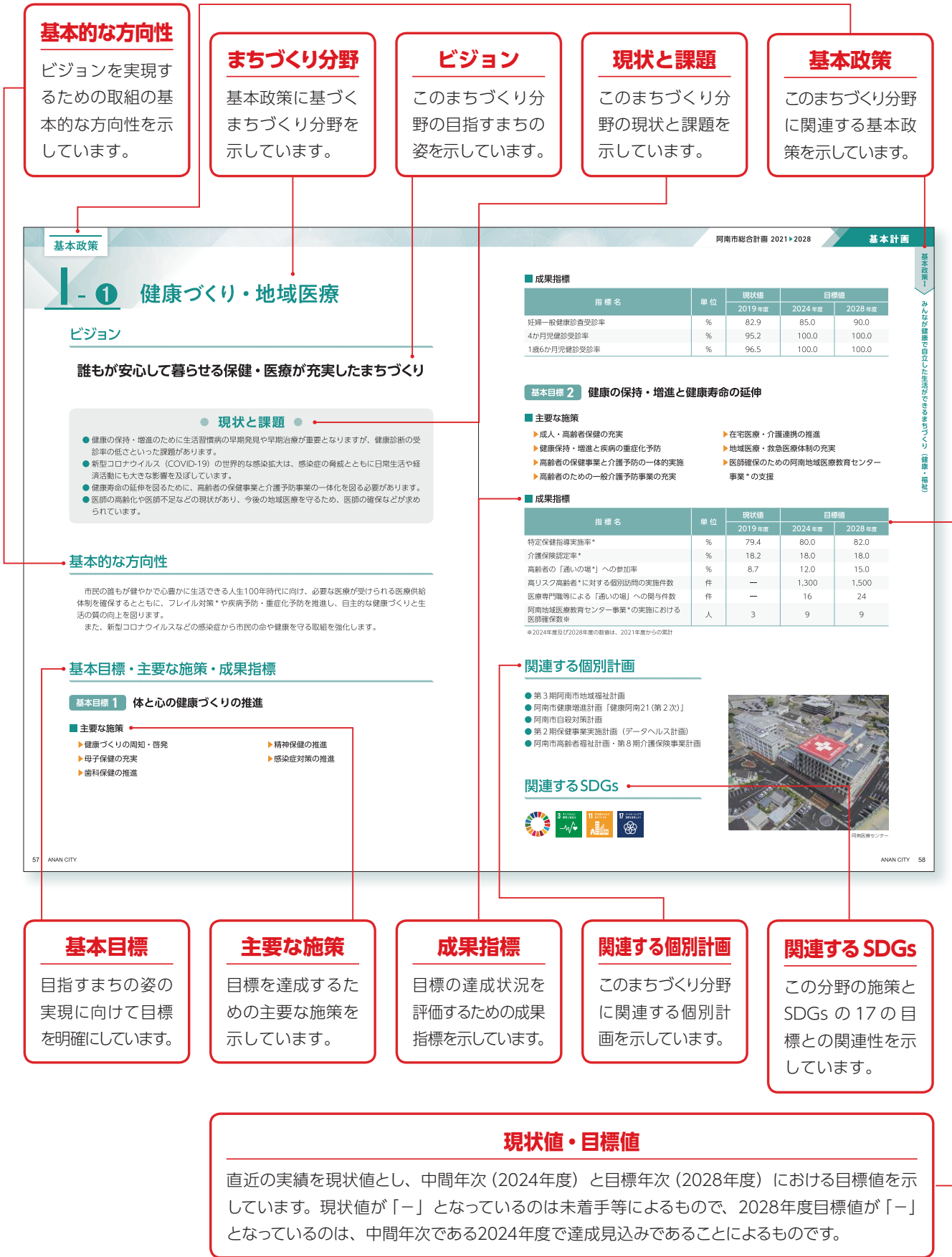


阿南市総合計画
2021 ▶ 2028

第 3 編
基本計画

基本計画の見方



- ① 健康づくり・地域医療

ビジョン

誰もが安心して暮らせる保健・医療が充実したまちづくり

● 現状と課題 ●

- 健康の保持・増進のために生活習慣病の早期発見や早期治療が重要となりますが、健康診断の受診率の低さといった課題があります。
- 新型コロナウイルス（COVID-19）の世界的な感染拡大は、感染症の脅威とともに日常生活や経済活動にも大きな影響を及ぼしています。
- 健康寿命の延伸を図るために、高齢者の保健事業と介護予防事業の一体化を図る必要があります。
- 医師の高齢化や医師不足などの現状があり、今後の地域医療を守るため、医師の確保などが求められています。

基本的な方向性

市民の誰もが健やかで心豊かに生活できる人生100年時代に向け、必要な医療が受けられる医療供給体制を確保するとともに、フレイル対策*や疾病予防・重症化予防を推進し、自主的な健康づくりと生活の質の向上を図ります。

また、新型コロナウイルスなどの感染症から市民の命や健康を守る取組を強化します。

基本目標・主要な施策・成果指標

基本目標 1 体と心の健康づくりの推進

■ 主要な施策

- ▶ 健康づくりの周知・啓発
- ▶ 母子保健の充実
- ▶ 歯科保健の推進
- ▶ 精神保健の推進
- ▶ 感染症対策の推進

■ 成果指標

指 標 名	単 位	現状値	目標値	
		2019 年度	2024 年度	2028 年度
妊婦一般健康診査受診率	%	82.9	85.0	90.0
4か月児健診受診率	%	95.2	100.0	100.0
1歳6か月児健診受診率	%	96.5	100.0	100.0

基本目標 2 健康の保持・増進と健康寿命の延伸

■ 主要な施策

- ▶ 成人・高齢者保健の充実
- ▶ 健康保持・増進と疾病の重症化予防
- ▶ 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施
- ▶ 高齢者のための一般介護予防事業の充実
- ▶ 在宅医療・介護連携の推進
- ▶ 地域医療・救急医療体制の充実
- ▶ 医師確保のための阿南地域医療教育センター事業*の支援

■ 成果指標

指 標 名	単 位	現状値	目標値	
		2019 年度	2024 年度	2028 年度
特定保健指導実施率*	%	79.4	80.0	82.0
介護保険認定率*	%	18.2	18.0	18.0
高齢者の「通いの場*」への参加率	%	8.7	12.0	15.0
高リスク高齢者*に対する個別訪問の実施件数	件	—	1,300	1,500
医療専門職等による「通いの場」への関与件数	件	—	16	24
阿南地域医療教育センター事業*の実施における医師確保数※	人	3	9	9

※2024年度及び2028年度の数値は、2021年度からの累計

関連する個別計画

- 第3期阿南市地域福祉計画
- 阿南市健康増進計画「健康阿南21(第2次)」
- 阿南市自殺対策計画
- 第2期保健事業実施計画（データヘルス計画）
- 阿南市高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画

関連するSDGs



阿南医療センター

1 - 2 地域福祉

ビジョン

地域で助け合いつながり合って住み続けられるまちづくり

● 現状と課題 ●

- 社会の変化とともに地域とつながる機会が減少し、結果として人間関係の希薄化や地域での孤立化が進んでいます。
- 住民に身近な小地域を基盤とする高齢者の見守り体制（小地域見守りネットワーク*）の構築を推進しており、地域住民の理解と協力を得ながら、市内の全地区でネットワークが構築されるよう取り組む必要があります。
- 複合的な課題を抱える世帯が増加していることから、「断らない相談支援」「伴走型支援*」を行う相談支援機関の設置が求められています。
- 核家族化等で高齢者や障がい者のひとり暮らしの世帯や高齢者のみで構成される世帯が増えており、災害時等に支援をするボランティア体制を強化することが必要になってきています。

基本的な方向性

地域の多様な主体の活動を支援し、自助・互助・共助・公助*が有機的に連携する地域づくりを推進し、すべての人が住み慣れた地域や暮らしの中で、自分らしく生活できる「地域共生社会」の実現を目指します。

基本目標・主要な施策・成果指標

基本目標 1 地域共生社会の実現に向けた地域づくりの推進

■ 主要な施策

- ▶ 小地域見守りネットワークの構築
- ▶ 介護予防・生活支援サービス事業の充実と普及展開
- ▶ バリアフリー、ユニバーサルデザイン*のまちづくり

■ 成果指標

指 標 名	単 位	現状値	目標値	
		2019 年度	2024 年度	2028 年度
小地域見守りネットワークの構築割合	%	80.0	100.0	100.0
住民主体による介護予防・生活支援サービス事業の実施グループ数	グループ	9	30	35

基本目標 2 助け合いながら暮らし続けられる支援体制の充実

■ 主要な施策

- ▶ 地域福祉活動の総合的推進
- ▶ ボランティア活動の推進

■ 成果指標

指 標 名	単 位	現状値	目標値	
		2019 年度	2024 年度	2028 年度
阿南市ボランティア推進センターの登録団体数（NPO*法人を含む）	団体	79	90	102
ボランティア活動参加人数（阿南市ボランティア推進センター推奨の保険加入者数）	人	1,255	1,350	1,530

基本目標 3 様々な課題を抱える世帯への相談支援体制の構築

■ 主要な施策

- ▶ 我が事・丸ごとの相談支援体制*の整備
- ▶ 安心して暮らせる生活環境の整備

■ 成果指標

指 標 名	単 位	現状値	目標値	
		2019 年度	2024 年度	2028 年度
我が事・丸ごと相談窓口への相談件数のうち適切な支援につなげた割合	%	—	100.0	100.0

関連する個別計画

- 第 3 期阿南市地域福祉計画
- 阿南市高齢者福祉計画・第 8 期介護保険事業計画
- 阿南市成年後見制度利用促進基本計画
- 阿南市障害者基本計画
- 第 6 期阿南市障害福祉計画・第 2 期阿南市障害児福祉計画
- 第 2 期阿南市子ども・子育て支援事業計画

関連するSDGs



- ③ 子ども・子育て支援

ビジョン

誰もが安心して健やかに子どもを産み育てられるまちづくり

● 現状と課題 ●

- 在宅で子育てをする保護者の不安や孤立は、子どもの虐待へと結びつきやすいことから、地域子育て支援センターやつどいの広場などで不安や悩みを聞き、子ども同士、保護者同士の触れ合いの場で、お互いに様々な情報を提供し合うことにより、虐待防止に取り組んでいます。
- 子どもの健康の保持・増進のため、疾病等の早期発見と治療を促進するとともに、保護者の経済的負担の軽減を図るため、子どもに係る医療費の一部を助成しています。
- 放課後児童クラブの開設において、施設の老朽化等の課題があり、適切な開設場所の確保が求められています。

基本的な方向性

子育て家庭が抱える不安を解消するため、第一義的には父母その他の保護者が責任を持つという基本的認識を前提としつつ、地域・学校・事業者・行政などが一体となって子育て支援に取り組みます。

子育て家庭の経済的負担を軽減するため、子どもに係る医療費の一部をその保護者に助成するなど、福祉の増進を図り、子どもがいきいきと健やかに育つ環境の実現を目指します。

基本目標・主要な施策・成果指標

基本目標 1 子育て家庭への経済的支援

■ 主要な施策

- ▶ こどもの医療費助成
- ▶ 0歳児から2歳児までの保育料等の完全無償化
- ▶ 未熟児養育医療の給付

■ 成果指標

指 標 名	単 位	現状値	目標値	
		2019 年度	2024 年度	2028 年度
子育ての経済的負担が大きいと感じている世帯（就学前児童）	%	48.7	40.0	20.0
子育ての経済的負担が大きいと感じている世帯（小学生）	%	58.6	50.0	50.0

基本目標 2 配慮を要する子どもとその家族への支援

■ 主要な施策

- ▶ 心身障がい児在宅介護等支援の充実
- ▶ ひとり親家庭の自立支援促進
- ▶ 児童通所支援等障がい福祉サービスの充実
- ▶ LINE 等を活用した児童虐待等の相談の推進

■ 成果指標

指 標 名	単 位	現状値	目標値	
		2019 年度	2024 年度	2028 年度
ひとり親家庭高等職業訓練促進給付金受給者数	件	1	3	3
ひとり親家庭自立支援教育訓練給付金受給者数	件	2	4	4

基本目標 3 すべての子どもと子育て家庭への支援

■ 主要な施策

- ▶ 地域における教育・保育及び子育て支援の充実
- ▶ 保育所等利用待機児童の解消
- ▶ 子どもたちの生きる力と豊かな心の育成
- ▶ 育児休業中の継続利用に向けた保育所等への受入体制の充実
- ▶ 子育てを支援する生活環境等の整備

■ 成果指標

指 標 名	単 位	現状値	目標値	
		2019 年度	2024 年度	2028 年度
学校施設での放課後児童クラブ開設数	クラブ	2	5	8
保育所等利用待機児童数（3月31日現在）	人	10	0	0

基本目標 4 子どもたちへの食育の推進

■ 主要な施策

- ▶ 地元食材への関心を高める献立作成
- ▶ 地元食材の情報発信

- 4 障がい者福祉

ビジョン

障がいの有無にかかわらず支え合い尊重し合うまちづくり

● 現状と課題 ●

- 障がいの種別で分かれていた制度の一元化とともに、福祉サービスは分野ごとに整備され、質、量ともに充実を図ってきました。
- 障がい者の相談支援事業は、現在、2市1町（阿南市、小松島市、那賀町）の広域で実施していますが、相談支援員の退職等により、相談員が不足しています。
- 障がい者のための相談支援事業所*の基幹センターを設置し、相談員を養成するとともに、困難事例への対応など、相談支援体制の充実を図る必要があります。
- 障がいのある人が地域で自立するための働く場所や活動の場の確保について、職場全体での理解や適した環境の整備、さらに雇用が拡大するよう関係機関との連携と、雇用促進が求められています。
- 障がいの有無にかかわらず、相互の人格と個性を尊重し合いながら暮らせる社会を実現するため、障がい者への理解を深めるための啓発活動の推進と交流の場の拡充が求められています。

基本的な方向性

相談支援事業所等の関係機関と県・市町の福祉行政が一体となり、障がい者支援の中核機関*として阿南市、小松島市、那賀町との広域で、相談支援事業の更なる充実・強化を目指し、サービス利用者本位の支援、障がいの特性を踏まえた、総合的かつ効果的な施策を推進します。

基本目標・主要な施策・成果指標

基本目標 1 障がい者の社会参加と自立の支援

■ 主要な施策

- ▶ 障がい者施策の総合的推進
- ▶ 社会参加の促進
- ▶ 就労支援の取組
- ▶ 障害福祉サービス提供の充実

■ 成果指標

指標名	単位	現状値	目標値	
		2019年度	2024年度	2028年度
学校給食における地元食材の使用割合	%	37.0	40.0	43.0

関連する個別計画

- 第3期阿南市地域福祉計画
- 第2期阿南市子ども・子育て支援事業計画
- 第3期阿南市教育振興基本計画

関連するSDGs



1-5 高齢者福祉

ビジョン

高齢者の暮らしと生きがいを共に創るまちづくり

● 現状と課題 ●

- 団塊の世代*が75歳以上となる2025年以降を見据え、介護保険制度の安定化、認知症になっても暮らし続けられる地域社会の実現、成年後見制度*の利用促進等に取り組む必要があります。
- 高齢者の生きがいづくりと敬老思想*の高揚を目的に、「敬老会」を始めとする各種敬老記念事業を行っています。
- 中山間地域を中心に、交通手段の不足から買い物や通院等の外出に不便と感じている高齢者が増加しています。
- 本市における高齢者福祉の中核的機関である「高齢者お世話センター（地域包括支援センター）」の機能強化や、認知症サポーター*を活用した認知症高齢者を地域で見守る仕組み（チームオレンジ）の構築、介護予防・生活支援サービス事業の充実が求められています。

基本的な方向性

敬老思想の高揚と地域福祉活動の推進に努め、介護保険サービスや各種高齢者支援の充実を図るとともに、地域包括ケアシステム*の深化・推進とその先にある「地域共生社会」の実現に向けて、各種施策に取り組めます。

特に、高齢者の買い物支援や移送支援については、困難地域を的確に把握するとともに、民間事業者と連携を図り、総合事業における住民主体の移送支援サービスを創出するなど、地域公共交通*と調和した新たなサービスが展開されるよう早急に取り組めます。

基本目標・主要な施策・成果指標

基本目標 1 高齢者の生きがいづくりと社会参加の推進

■ 主要な施策

- ▶ 高齢者福祉の向上及び増進
- ▶ 高齢者の買い物支援及び移送支援サービスの構築
- ▶ 介護予防・生活支援サービス事業の充実と普及展開（再掲）

■ 成果指標

指 標 名	単 位	現状値	目標値	
		2019 年度	2024 年度	2028 年度
福祉サービス 居宅介護 利用者数	人	278	300	310
福祉サービス 就労支援 利用者数	人	197	290	300
障がい者の相談件数	件	3,825	4,000	4,000

基本目標 2 障がい者相談支援体制の強化

■ 主要な施策

- ▶ 障がい者相談支援事業所基幹センターの設置

■ 成果指標

指 標 名	単 位	現状値	目標値	
		2019 年度	2024 年度	2028 年度
障がい者相談支援事業所基幹センターの設置数	か所	0	1	—

関連する個別計画

- 第3期阿南市地域福祉計画
- 阿南市障害者基本計画
- 第6期阿南市障害福祉計画・第2期阿南市障害児福祉計画

関連するSDGs



- 6 社会保障

ビジョン

誰もが健やかでいきいきと暮らせるまちづくり

● 現状と課題 ●

- 国民健康保険制度は、高齢者や低所得者などの加入割合が増加するという構造的な問題を抱えており、また、被保険者の高齢化や医療の高度化に伴い医療費の増加が見込まれることから、今後も市民の健康づくりと医療費の適正化を図る取組が求められています。
- 後期高齢者医療制度は、被保険者の増加に伴い、医療費の増加が見込まれるため、世代間・世代内負担の公平化を図るとともに、適正な制度運営が求められています。
- 国民年金制度は、老後の生活などを経済的に支える重要な役割を果たしているため、市民一人ひとりの年金受給権を確保することが必要です。
- 令和2年3月末の本市の生活保護世帯数及び人数は886世帯1,204人で、保護率（‰）*は17‰前後（全国平均並）で近年推移しています。今後は、新型コロナウイルス感染症の影響による失業や収入減から、生活保護世帯の増加が考えられます。

基本的な方向性

国民皆保険*の重要な役割を担う制度として、国民健康保険の健全な運営に努め、また、後期高齢者医療制度では、徳島県後期高齢者医療広域連合と役割分担しながら、適正な制度運営に努めます。国民年金制度では、老後の安定した生活を支えるため、制度の周知・啓発に取り組みます。また、生活保護制度によって、生活に困窮するすべての住民に対して必要な保護を行い、最低限度の生活を保障するとともに、生活保護受給者の自立助長を図ります。

基本目標・主要な施策・成果指標

基本目標 1 社会保障制度の適正な運用、国民年金制度の啓発

■ 主要な施策

- ▶ 国民健康保険被保険者の資格適用の適正化
- ▶ 国民健康保険及び後期高齢者医療制度における医療費の適正化
- ▶ 保健事業の充実
- ▶ 年金受給権の確保

■ 成果指標

指 標 名	単 位	現状値	目標値	
		2019 年度	2024 年度	2028 年度
敬老会の開催状況	地区	14	14	14
住民主体による介護予防・生活支援サービス事業の実施グループ数	グループ	9	30	35
住民主体による移送支援サービス事業の実施グループ数	グループ	0	2	5
住民主体による移送支援サービス事業の運転ボランティア登録数	人	0	40	60
交通手段の不足から外出に不便を感じている高齢者の割合	%	25.4	23.0	18.0

基本目標 2 地域包括ケアシステムの深化・推進

■ 主要な施策

- ▶ 適切な介護保険サービスの充実と強化
- ▶ 在宅医療・介護連携の推進（再掲）
- ▶ 高齢者お世話センター（地域包括支援センター）の機能強化
- ▶ 認知症施策の推進

■ 成果指標

指 標 名	単 位	現状値	目標値	
		2019 年度	2024 年度	2028 年度
地域ケア会議の開催数	回	36	60	72
認知症サポーターの養成人数	人	493	600	800
チームオレンジの結成状況	か所	—	6	12
徳島家庭裁判所阿南支部における高齢者に係る後見等開始審判*の件数	件	12	13	15

関連する個別計画

- 第3期阿南市地域福祉計画
- 阿南市高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画
- 阿南市成年後見制度利用促進基本計画

関連するSDGs



成果指標

指 標 名	単 位	現状値	目標値	
		2019 年度	2024 年度	2028 年度
国民健康保険加入者における特定健康診査受診率*	%	33.5	50.0	60.0

基本目標 2 生活保護受給世帯の自立支援

主要な施策

- ▶生活保護受給者等就労自立の促進
- ▶被保護者就労支援
- ▶適正な保護の推進

成果指標

指 標 名	単 位	現状値	目標値	
		2019 年度	2024 年度	2028 年度
就労により生活保護から脱却した世帯数	世帯	7	20	20

関連する個別計画

- 第 2 期保健事業実施計画（データヘルス計画）
- 第 3 期阿南市地域福祉計画
- 阿南市自殺対策計画
- 第 2 次阿南市食育推進計画
- 阿南市健康増進計画「健康阿南21（第 2 次）」

関連するSDGs

